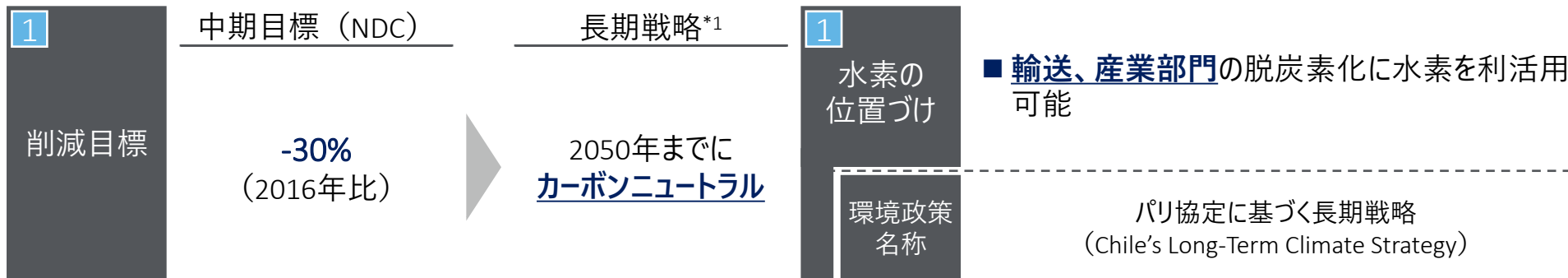




# 【国・地域別サマリー】

## チリエネルギー省（MoE）がグリーン水素戦略を発表し、チリ産業開発公社（CORFO）が水素事業を支援する



2 水素・FC政策の全体像

■ チリエネルギー省（MoE） \*2がドイツ国際協力公社（GIZ） \*3の支援を受けてグリーン水素戦略を発表（2020/11） ⇒ 詳細後述

- 2030年までに世界一安価なグリーン水素を生産する体制を構築し、2040年までに世界トップ3の水素輸出国家を目指す
- 20年間で国内に約10万人の雇用を創出し、2,000億\$（20兆円）規模の投資を誘起する

■ チリ産業開発公社（CORFO） \*4がグリーン水素を支援する公募を開始（2021/4）

- 6つのプロジェクトを選定し（2021/12）、このうち3者とチリ産業開発公社が契約を締結（2022/5）

3 定量目標\*4

	2025	2030
水電解装置	5GW	25GW
製造量	20万トン/年	-
価格	-	160円/kg
輸出货量	-	2,700億円/年

4 施策例（予算詳細）

- チリエネルギー省（MoE）
  - グリーン水素製造プロジェクトの立ち上げ支援（55億円規模）
  - 水素に関連する人材開発、研究開発支援（210億円規模）
- チリ産業開発公社（CORFO）
  - 2025年までにグリーン水素生産用に再エネ容量10MW以上を設置する事業に支援（1事業最大約30億円）

出典： UNFCCC、IPHE、チリ政府HP、CORFO HP、National Green Hydrogen Strategy（2020/11） Internationale Zusammenarbeit \*4： Corporación de Fomento de la Producción de Chile \*1： NDCに記載あり \*2： Chilean Ministry of Energy \*3： Deutsche Gesellschaft für



<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

# チリが2020年11月に再エネ由来水素の国内利用と他国への輸出を目指す グリーン水素戦略を公表した



名称	グリーン水素戦略（National Green Hydrogen Strategy）				
策定主体	チリエネルギー省（Chilean Ministry of Energy）				
策定期期	2020年11月				
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2014年～2019年にドイツ国際協力公社（GIZ）の支援も受けて太陽光発電の導入を促進</li> <li>■ 2020年にドイツ国際協力公社（GIZ）の支援も受けてグリーン水素戦略を作成</li> <li>■ 世界最安の水素製造を実現できる見通しがある</li> </ul>				
戦略の柱	中央政府からの積極的な政策支援	サステナブルな資源開発	クリーンエネルギー輸出の新産業創出		
	ネットゼロ排出の効率的な実現	地域経済の振興	国際協力		
施策例	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グリーン水素製造プロジェクトの立ち上げ支援（55億円規模）</li> <li>■ グリーン水素外交</li> <li>■ 都市ガスインフラへの段階的なグリーン水素混合基準（義務）の設定</li> <li>■ 地元コミュニティとの対話の場の創出</li> <li>■ オフグリッドアプリケーションにおけるグリーン水素代替</li> <li>■ 人材開発、研究開発支援（210億円規模）等</li> </ul>				
定量目標	投資額	水電解容量	水素製造量	水素製造価格	水素輸出量
	2025年	5,500億円	5GW	2か所・20万トン/年	
	2030年		25GW		1.5\$/kg (160円/kg) 2,700億円/年
水素輸出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2020年代に水素輸出を開始する。グリーン水素製造量の7割程度（目安）を輸出する想定。</li> <li>■ 欧州に続いて、中国、日本、韓国、米国、南米への輸出を想定。</li> </ul>				

出典：National Green Hydrogen Strategy（2020/11）、各種報道を参考に作成、一部引用